



杉木 勉 議員
(灘会)



神坐像

一般質問

■久麻加夫都阿良加志比古神社の所蔵文化財について

文化財の再調査と保護や管理そしてPRを！

質問 県立歴史博物館において開催された「いしかわの神々」特別展で、木造久麻加夫都阿良加志比古神坐像と木造隨身像が展示され、地元の人間として、氏子の一人としてぜひ見てみたい特別展であったが、久麻加夫都阿良加志比古神社の文化財を再調査し国や県の指定文化財に見直しできないか。指定されている文化財を来年オープン前の倉温泉お祭り会館（仮称）で紹介できないか。

答弁 神社が所蔵する指定文化財の格上げや新たな指定に向けては、神社や氏子の皆さんなど関係者と相談の上、必要な調査を行っていきたくと考えている。14件の文化財のうち、今回の特別展で注目を集めた隨身像をはじめとした9件については、神社に隣接している祭り会館で展示しながら保護管理を行っており、神坐像や薬師如来坐像については、社殿で大切に祭られている状況で、1,000年余りも守られてきた貴重な文化財であり、本来あるべき場所に保管することも、その上で保護管理を、国や県の補助制度などを活用しながら、神社関係者の皆さんと相談したい。オープンするお祭り会館では、交流、集客、周遊観光の無料ゾーンに、お熊甲祭りや神社所蔵文化財の紹介コーナーなどを設けることを検討したい。

【その他の質問項目】

■災害について

一般質問

■パトリア破産後の対応を伺う

パトリアの現状と今後の見通しについて

質問 ①破産した七尾都市開発株式会社やパトリア存続の判断、所有者の交渉について。②今後のパトリア市民施設維持の予算対応について。③債権者集会を終え、出資者として市は、その方向性や破産事件終了をどのように理解し受けとめているか。④市が買い取る話が水面下でかなり進んでいるのではないか。

答弁 ①駅前のにぎわい維持再生をどうするのか、3、4階に入る健康福祉部などの機能を維持保全していくことが大事だと考え、場合によっては市が取得しなければならぬことを視野に置き、今後の破綻手続を注視し対応していきたい。私権が設定されている財産の取得が法的にできないことから、抵当権の解除、テナントの敷金や補償金の返還請求放棄が可能かなどを見極める必要がある。②3、4階の機能を保全する意味でも、大規模な改修が必要になってくるということであり、建物の保全のための財政出動というのは覚悟をしていた。③破産手続、財産処理がスタートしたが、地権者との調整も難航すると思っており、時を失することのないよう連携を取り対応していきたい。④権利関係も整理した上で民間が引き継いでくれればと思う一方、そうならない場合に備える意味でも、財源も含めしっかりと対応していきたい。

【その他の質問項目】

- 令和への改元に対する思いは
- 防災対応を伺う
- 資料館などの施設利用促進対応を伺う
- 危険空き家解消対応を伺う



永崎 陽 議員
(新政会)



パトリア